

令和6年度6月吉日

公益社団法人全国老人保健施設協会
東 憲太郎会長御侍史

「第4回新型コロナウイルス感染症による医療・介護施設入所中の認知症者に対する影響調査」
へのご協力をお願い

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

昨年度は「第3回新型コロナウイルス感染症による医療・介護施設入所中の認知症者に対する影響調査」にご協力頂き誠にありがとうございました。おかげ様で、コロナ禍が長期化する中において医療・介護施設入所中の認知症の人に生じた影響を皆様方のご協力により明らかにすることができました。

さて、新型コロナウイルス感染症に対する臨時的・特例的な取扱いや対応にあたっての公費支援も次々と終了し、インフルエンザなどと同様、日常的な感染症の一つとみなされるようになってきました。一方で、感染の波も引き続きみられており、感染者数が増加した時には医療・介護施設ではクラスターが多くみられています。今後も同様の状況が続くのではないかという専門家の意見もあります。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行してからどのような影響がみられたのか、また今後感染症に強い医療・介護システムの構築を目指すためにはどのような取組が必要なのかを検討することを目的として、当教室では一般社団法人日本老年医学会と共同で高齢者医療・介護施設を対象としたオンライン調査第4回目を企画しております。

前回調査から変更された点として、新型コロナウイルス感染症が5類に移行した昨年5月から現在までの期間に焦点をあてた質問としておりますが、回答に必要な時間としては前回同様10～15分程度と想定しております。

つきましては、ご多忙中、大変恐縮ではございますが、本調査へのご協力をお願い申し上げる次第です。別途御連絡させていただきますオンライン調査へのリンクを会員施設にご周知して頂ければ幸いです。

ご協力頂ける場合は、協力団体として貴協会をオンライン調査の依頼文に記載させて頂きたく存じます。

調査期間はご周知頂いた日から4週間程度とさせて頂きたく存じます。

結果につきましては、感染症流行下において認知症高齢者に対してどのような支援が適切か検討する基礎資料として活用させていただくとともに、日本老年医学会ホームページや医学雑誌等を通じて情報提供させて頂く予定です。調査は無記名式であり個別の施設名や情報は一切公表されません。

大変忙しい折、誠に恐縮ですがご協力のほどよろしくお願いいたします。

敬具

広島大学大学院医系科学研究科
共生社会医学講座
特任教授 石井伸弥
〒734-8553 広島県広島市南区霞1-2-3
TEL・FAX：082-257-2018
E-mail：sishii76@hiroshima-u.ac.jp